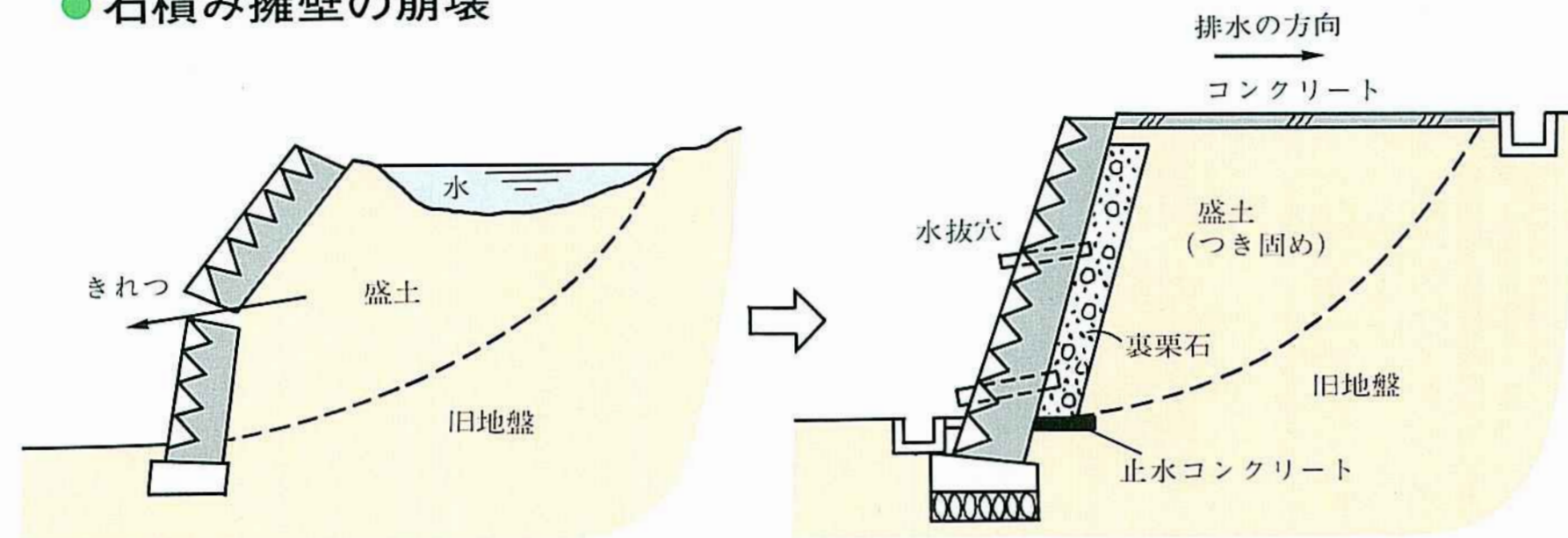


# 宅地防災のチェックポイント

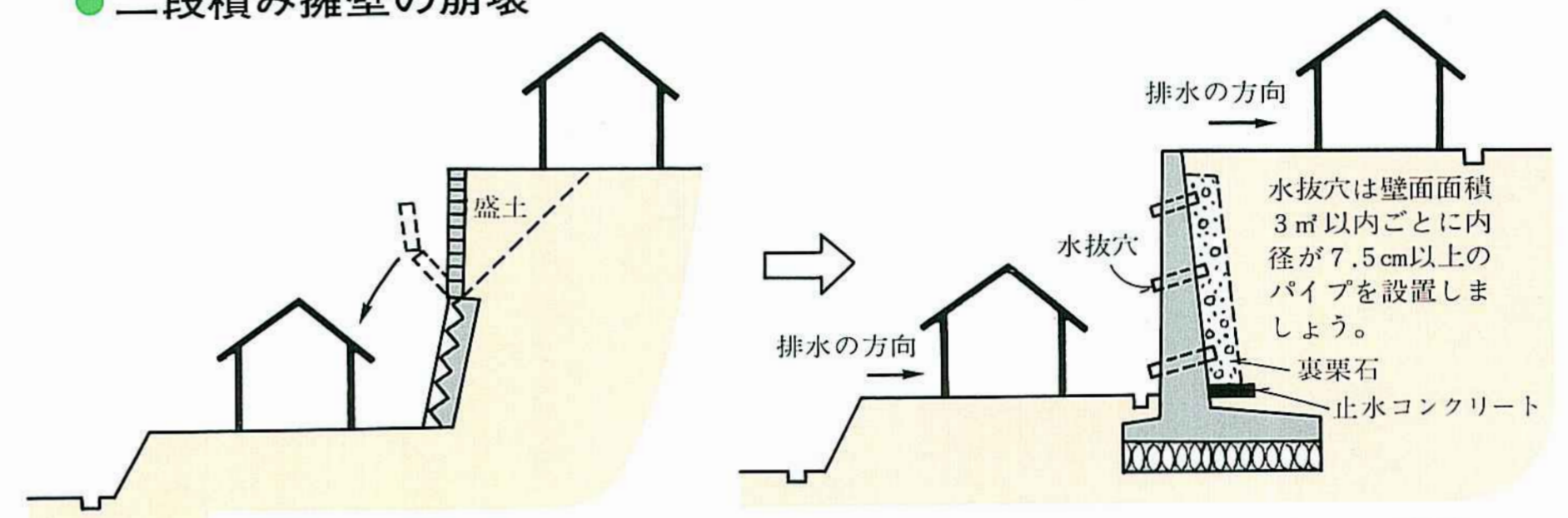
## ● 石積み擁壁の崩壊



擁壁の背部にある盛土の締め固めが不十分なため、盛土がくぼみ、水たまりができ、擁壁が崩れやすくなる可能性があります。盛土部分は十分締め固めると同時に、必要に応じてコンクリート等でおおうことを考えてください。

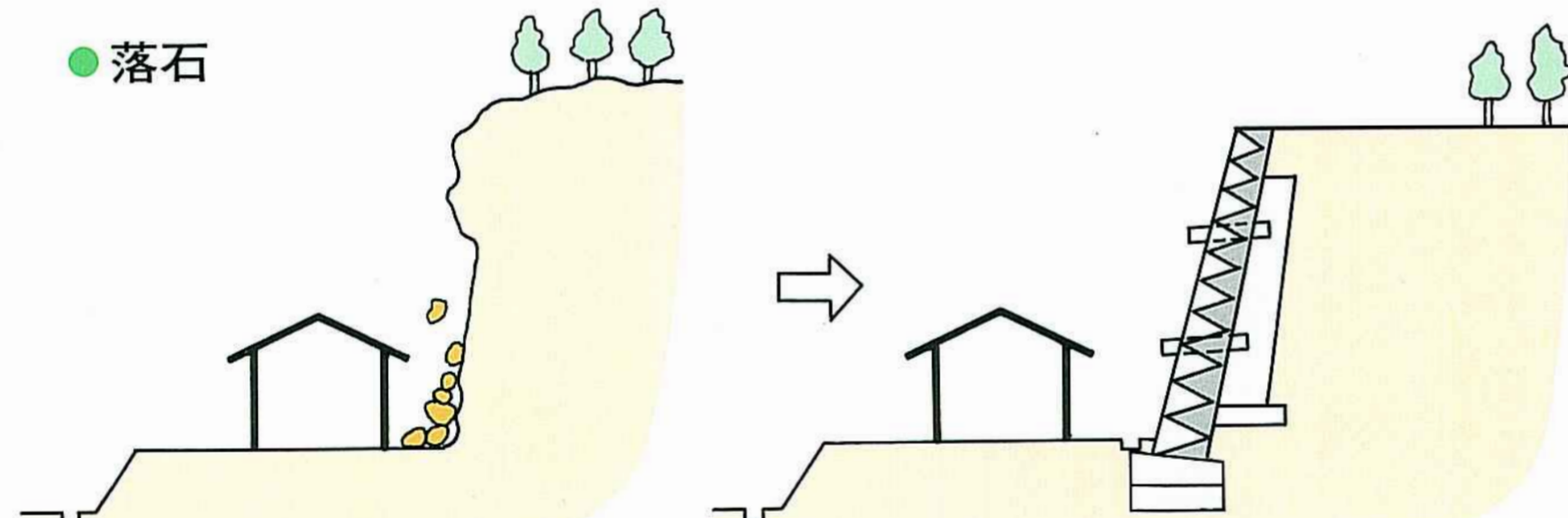
法面上部の水が法面に流れ込まないように、勾配は逆につけ排水溝を設置し、排水します。

## ● 二段積み擁壁の崩壊



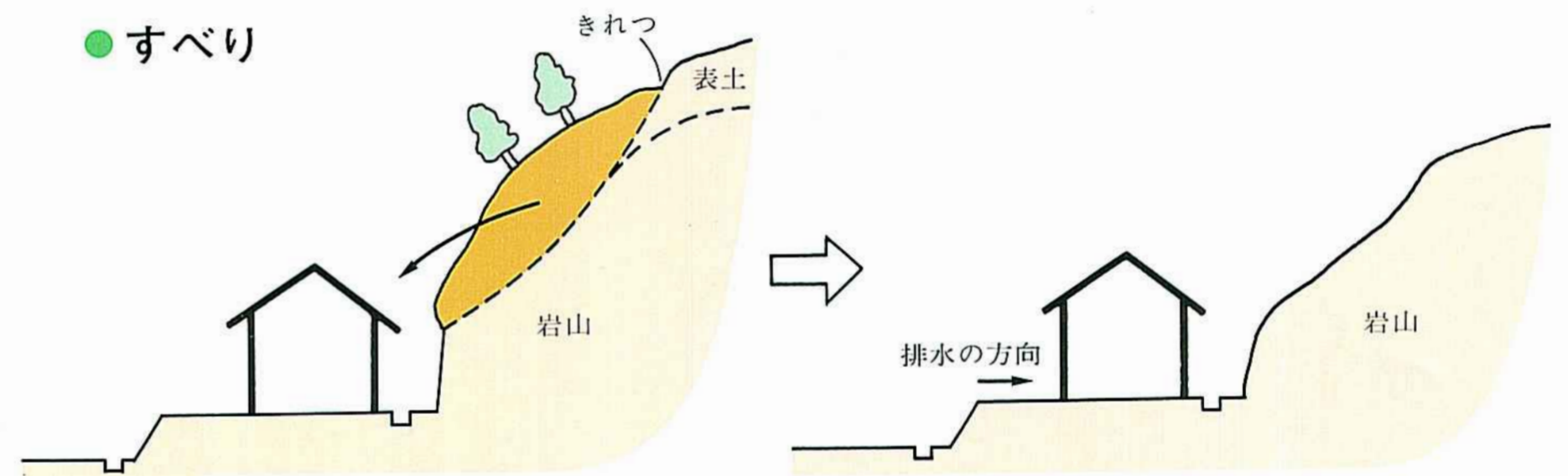
二段積み擁壁は危険です。敷地を有効に利用したい場合は、必要に応じて擁壁の改修・補強を行いましょう。

## ● 落石



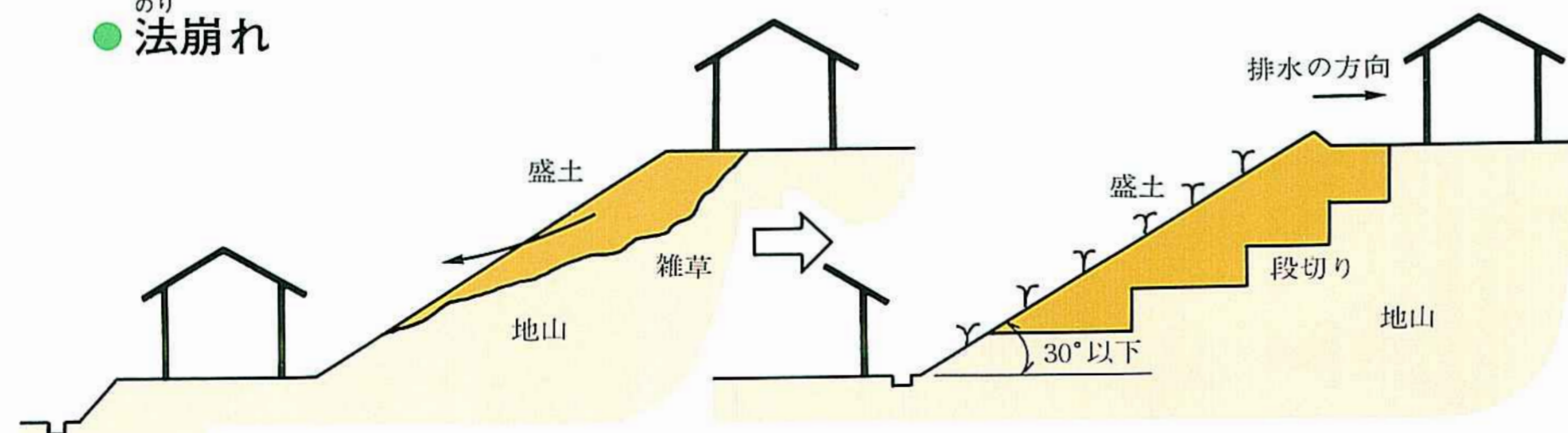
自然がけ面近くは落石やがけ崩れがあり危険です。家屋等は、できるだけがけ面から離すか、がけを削り擁壁等で表面を保護しましょう。

## ● すべり



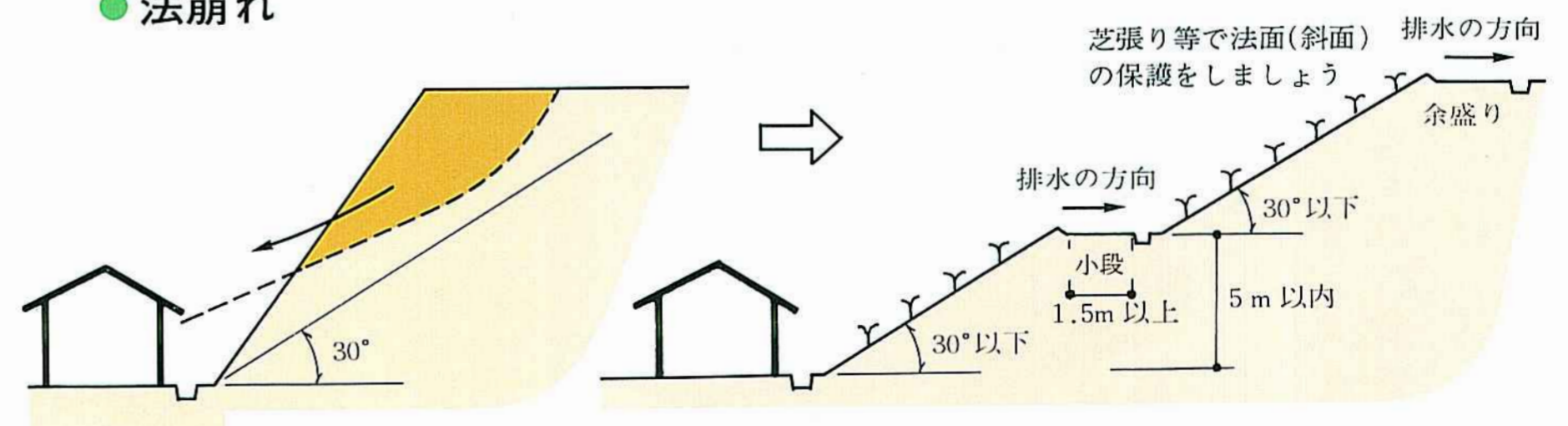
岩山の表土は、雨水の浸透により岩の表面ですべりが生じ、表土がはげ落ちます。表土をあらかじめはぎ取りましょう。

## ● のり法崩れ



現況地盤に直接盛土をすると、地山と盛土の間の雑草が腐り、そこで法面(斜面)崩壊を起こします。地山を段切りして、盛土の安定を図りましょう。

## ● のり法崩れ



大きな法面(斜面)は安定性が劣るので、傾斜角度を30度以下にするとともに法面(斜面)の途中に小段をつけ排水しましょう。